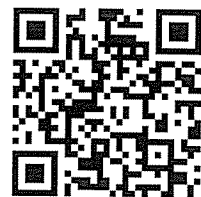


● 研究発表応募フォームについて ●

■中災防ホームページの「研究発表応募フォーム」からご応募ください。

■応募方法に関する詳細は研究発表募集要項を必ずお読みください。

URL : <https://www.jisha.or.jp/event/taikai/happyou.html>



■応募フォームイメージ

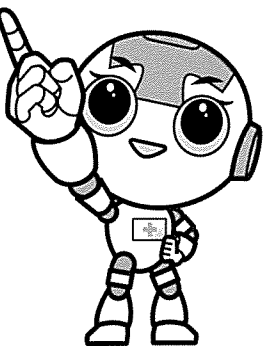
応募内容	
応募区分 必須	応募区分を選択してください
関連するテーマ	お選びいただいた応募区分の他に、関連するテーマがありましたら、以下のチェックボックスからお選びください。 ☐ 中小規模事業場 ☐ 第三次産業 ☐ AI・IoT・DX・VR技術
研究発表演題名 必須	40文字以内 ※この字数を超えると登録できません。
研究発表趣旨 必須	130文字以下 ※この字数を超えると登録できません。 採用された研究発表は、要旨を事前にホームページ等に掲載いたします。活動に至ったきっかけから、工夫した点や苦労した点等を含めた取り組み、成果等をご記入ください。「である」調でご記入ください。
発表内容として、「自社商品の宣伝は不可」です。宣伝と受け取れる内容が含まれていないかをお確かめのうえ、右側の「自社商品の宣伝ではありません」にチェックを入れてください。	☐ 自社商品の宣伝ではありません
発表者情報	

応募フォームは令和7年9月上旬に公開予定！
皆様からのたくさんのご応募お待ちしております。

第85回（令和8年度）全国産業安全衛生大会 開催・研究発表募集のお知らせについて

第85回全国産業安全衛生大会は、北海道札幌市で開催いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。また、研究（事例）発表を募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようご案内申し上げます。

開催期間	令和8年（2026年） 9月16日（水）～18日（金）
開催地	北海道札幌市
会場	16日 総合集会 北海道立総合体育センター（北海きたえーる） 17日、18日 分科会 札幌コンベンションセンター他
主催	中央労働災害防止協会
協力	公益社団法人 北海道労働基準協会連合会
同時開催	緑十字展2026 札幌市スポーツ交流施設 コミュニティドーム（つどーむ）



研究（事例）発表について

産業安全、労働衛生の推進向上を目的として全国各事業場の関係者が一堂に集う本大会での発表を通じて、貴事業場、貴研究機関等の安全衛生に係わる取り組みや事例等を全国に向けてご発信いただければ幸いです。

多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

■**応募方法**：以下のURLに掲載の「第85回（令和8年度）全国産業安全衛生大会研究発表応募フォーム」からご応募ください。

URL : <https://www.jisha.or.jp/event/taikai/happyou.html>

■**締切日**：令和7年12月31日（水）厳守 ※応募期間は年内迄です。

■**審査**：応募内容、応募件数を考慮のうえ、選考を行います。

■**発表方法**：現地会場の舞台にご登壇いただき、パワーポイント等の資料を用いて、口頭による発表を行っていただきます（15分間予定）。

なお、審査結果により、オンライン発表をお願いすることがございます（オンライン発表は、現地会場での発表ではございません。オンライン配信専用のプログラムとして、オンライン配信期間中に大会特設ウェブサイトにて公開いたします）。オンライン発表の場合は、ご自身で事前に動画収録をお願いいたします。

● 研究発表募集要項 ●

1. 応募要件

次の要件を満たす研究（事例）発表とします。

- （1） 事業場・大学および研究機関等で行われる安全衛生についての研究成果や改善事例等で、企業等の安全衛生水準の向上に寄与し、広く全国に紹介することが適当と思われるもの。
- （2） 安全衛生活動の成果や改善結果に限らず、そのプロセスにおいて工夫した点、苦労や失敗、振り返り、今後の展望等を含めた発表であること（※自社商品の宣伝は不可）。
- （3） 過去の全国産業安全衛生大会や、中災防の定期刊行物等で、同一の発表がなされていないもの。
- （4） 所属長等から応募の承認を受けたもの。

2. 応募区分 ※同一事業場から、同一応募区分で複数応募をすることはできません。

下記（1）～（12）の応募区分の中から該当する番号をご選択のうえ、ご応募ください。なお、関連するテーマがある場合には、応募フォームの「関連するテーマ」より複数選択いただくことが可能です。審査の際に参考にさせていただきます。

※以下の●印は、発表例です。なお、下記応募区分（1）～（12）は、分科会の名称を示すものではありません。

- （1）労働安全衛生マネジメントシステム／リスクアセスメント
 - 労働安全衛生マネジメントシステムの導入・運用の事例（ISO45001（JISQ45001）、JISQ45100、JISHA認証 など）
 - リスクアセスメント事例
 - 日常的な安全衛生活動※を取り入れたOSHMS指針およびJISQ45100に基づく活動の事例 など
 - ※小集団活動、KY活動、ヒヤリ・ハット活動、5S活動、改善提案制度や健康確保の取り組み など
- （2）ダイバーシティー&インクルージョン／ESG、SDGsへの取り組み（就業構造の変化および働き方の多様化、持続的な安全・安心な職場環境づくり など）
 - 高齢労働者（エイジフレンドリー など）・非正規雇用労働者・外国人労働者・障害者である労働者に配慮した職場づくり
 - 働き方に関する事例（テレワーク、長時間労働対策、人手不足対策 など）
 - 治療や介護と職業生活の両立支援に関する事例 など
 - 個人事業者等に対する安全衛生への対応（フリーランスの安全衛生対策 など）
- （3）最新技術を活用した安全衛生活動
 - AI、IoT、DX、VR技術など新技術を活用した安全衛生活動の事例
 - 人との協調作業を可能とする産業用ロボットを活用した安全衛生活動の事例
 - スマート保安の事例
- （4）安全管理活動
 - 安全管理、職場安全活動の推進事例（職場巡視、安全衛生委員会の活性化 など）
 - 作業方法、作業手順等の改善事例
 - 墜落・転落災害防止対策（フルハーネス型墜落制止用器具の使用など）に関する事例
 - 荷主側の荷役作業安全対策に関する事例
 - 企業活動のグローバル化にともなう安全衛生活動（国内事業場で働く外国人や海外関連事業場における現地スタッフ等の安全衛生活動・教育の事例 など）
 - 防災・自然災害対策および事業継続計画（BCP）の事例など
 - 協力的会社も含めて一体的に安全運動を展開している事例
- （5）機械・設備等の安全
 - 機械・設備に関するリスクアセスメント（機械包括安全指針に沿った保護方策実施の取り組み）や残留リスク対策の事例
 - 機械・設備の安全対策の事例 など
- （6）安全衛生教育
 - RSTトレーナーによる職長教育、雇入れ時教育等の事例
 - 動画を活用した安全衛生教育の事例
 - 安全衛生教育、安全（危険）体感教育の事例（安全衛生スタッ
- フの育成、派遣社員・請負会社への安全衛生教育 など）
- （7）ゼロ災運動
 - ゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）を推進する事例
 - 危険予知活動（KYT）や指差し呼称を日々の作業の中で展開している事例
 - 時代に応じたISO等システムとして継続的にゼロ災運動を展開している事例
 - 医療機関、社会福祉施設、小売業、飲食店等の第三次産業の事業場でゼロ災運動を展開している事例
- （8）交通安全
 - 運行前・運行中・運行後および通勤時の安全運転対策
 - 構内・構外の交通事故防止対策事例（ドライブレコーダーを活用した事例 など）
 - 事業所における酒気帯び運転の防止対策事例 など
- （9）労働衛生管理活動
 - 作業環境管理、作業管理および健康管理に関する事例
 - 衛生管理者の活動事例
 - 受動喫煙防止、熱中症予防対策、騒音防止などに関する対策事例
 - PC、タブレット等の情報機器作業による健康障害の対策事例
 - ウェルビーイングへの取り組み
 - ハラスメント対策事例
- （10）化学物質管理活動
 - 化学物質の自律的な管理に関する事例
 - 化学物質管理者、保護具着用管理責任者の活動事例
 - 作業環境管理専門家、化学物質管理専門家などの活用事例
 - レスポンシブルケア（RC） など
- （11）メンタルヘルス／健康づくり／健康経営
 - 職場のメンタルヘルス対策（ポジティブメンタルヘルス、コミュニケーションなど）に関する事例
 - 職場の健康づくり活動（THPおよび生活習慣病対策など）に対する事例
 - 健康管理上の課題の可視化、データ活用によるパーソナルケアの推進（ストレスチェックの活用やコラボヘルスなど）に関する事例 など
 - （※「健康経営」は、NPO法人 健康経営研究会の登録商標です。）
- （12）第三次産業における安全衛生対策
 - 安全で安心な店舗・施設づくり、ギグワーカーに対する安全衛生教育
 - 社会福祉施設における移乗作業における安全対策、介護作業における転倒・腰痛予防対策に関する事例 など
 - 小売業における安全衛生対策に関する事例（行動災害の予防対策、+safeコンソーシアム など）

3. 発表方法

現地会場の舞台にご登壇いただき、パワーポイント等の資料を用いて、口頭による発表を行っていただきます（15分間予定）。

4. 応募方法

- ①中災防ホームページに掲載の「第85回（令和8年度）全国産業安全衛生大会 研究発表 応募フォーム」より、必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募フォーム URL：https://www.jisha.or.jp/event/taikai/happyou.html

- ②上記よりご応募後、連絡担当者様あてに受領確認および「発表内容（800字程度）」のご提出について自動メールを配信します。ご応募後、一日経っても自動メールが届かない場合は、大会事務局までお問い合わせください。「発表内容（800字程度）」には成果や改善結果に限らず、そのプロセスにおいて工夫した点、苦労や失敗、振り返り、今後の展望等をまとめたものをご記入ください。
※ご提出後の差し替えはご遠慮ください（審査資料として取り扱います。誌面等に掲載する原稿ではありません。）。

5. 締切日

令和7年12月31日（水）厳守 ※締切日までにご応募と「発表内容（800字程度）」のご提出を完了ください。

6. 審査結果の通知 ※審査の結果により、オンライン発表をお願いすることがございます。

審査結果（採用（現地発表またはオンライン発表）・不採用）については、令和8年3月末に通知いたします。
なお、審査結果の理由等はお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。

7. その他注意事項

- （1）発表方法、分科会の種類、発表日時 の指定はできませんのでご了承ください。
- （2）記入いただいた応募区分（1）～（12）は、分科会の名称を示すものではありません。
- （3）発表者は1名とさせていただきます（現地会場にて複数でのご登壇はご遠慮ください）。
発表時間は15分間を予定しています。
（現地発表におけるパソコン操作は発表者ご自身でお願いいたします。）
- （4）会期を通じ1名1回のみの発表とさせていただきます。
- （5）現地会場にて操作いただく機材等の仕様は、会期前にお知らせいたします。
- （6）採用の場合には、公開用パワーポイント原稿（発表の要点をまとめたダイジェスト版パワーポイント）をご作成いただきます。なお、作成要領はお知らせいたします。ご提出いただいた原稿は返却いたしません。
- （7）発表原稿等に係る著作権は、中災防に帰属するものとし、発表原稿は中災防ホームページ等の「全国産業安全衛生大会 研究発表パワーポイント集」に掲載するほか、中災防の安全衛生情報として使用させていただきます。
- （8）発表者の旅費等につきましては、発表者それぞれのご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
なお、発表者については、無償で参加章を提供いたします（発表者ご本人限り）。
- （9）ご記入いただいた個人情報につきましては、中災防が責任を持って管理し、研究発表にかかる審査において使用するほか、研究発表決定の場合は、中災防ホームページ等に掲載予定です。

8. 令和8年（2026年）スケジュール（予定）

令和7年12月31日（水）応募締切り ※応募期間は年内迄です。締切日を過ぎるとご応募いただくことができません。

3月末 結果通知の受領
5月上旬 公開用パワーポイント原稿作成・提出（発表の要点をまとめたダイジェスト版パワーポイント）
6月上旬 発表日時等のお知らせの受領（発表日時のご指定はお受けできません。）
8月上旬 投影用パワーポイント（現地発表者）、オンライン発表動画（オンライン発表者）の提出

9. 応募に関する問合せ先

中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課（大会事務局）
〒108-0014 東京都港区芝5-35-2 TEL 03-3452-6402 E-mail：kenkyu@jisha.or.jp